

U-net通信

2015年11月
Vol.87

発行:地球環境・共生ネットワーク 〒105-0014 東京都港区芝2丁目6番3号三宅ビル4F TEL:03-5427-2348 FAX:03-5427-5890 <http://www.unet.or.jp> 編集人:大山正治/発行人:比嘉照夫

あとから来る者のために
坂村 真民

あとから来る者のために
田畑を耕し
種を用意しておくのだ
山を
川を
海を
きれいにしておくのだ
ああ
あとから来る者のために
苦勞をし
我慢をし
みなそれぞれを傾けるのだ
あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
みなそれぞれ自分にできる
なにかをしてゆくのだ



有用微生物群(EM)に追い風… 東京で環境フォーラム「うつくしまEMパラダイス」開催!!

平成27年11月29日(日) 東京都港区「笹川記念会館」

取材/大山

微生物のもつ底知れない能力が次々と明らかに

約30年前に比嘉照夫教授が開発したEM(有用微生物群)の活用で、農業・環境・工業・建築・医学・省エネルギー等多分野において著しい成果を上げてきた。しかし、EMを使用して効果を実感した人は着実に増え成果を上げているが、一部の反EM論者によるEM批判情報にEMを誤解されている方がいるのも残念ながら事実。

今年になってNHKスペシャル「腸内フローラ～解明!驚異の細菌叢」で腸内細菌が人間の健康に大きく影響を及ぼしていることが放映された。今年ノーベル医学賞・生理学賞を受賞した大村智氏の微生物の有機排出物を活用して「寄生虫病に対する新しい治療法の発見」もEMと同じような微生物群のもつ底知れない能力が次々と明らかになり、EMへの注目が日に日に増大している。

EMによる復興支援に国内外からの支援金 支援金は税の控除対象に

東日本大震災が発生し早や5年目、当NPOでは発生後すぐに被災地への支援を始め、1年目は岩手県と宮城県沿岸の津波被害に対して悪臭・衛生・ヘドロ・塩害の防除を主とした対策を実施して、多くの被災者や自治体から感謝の言葉が寄せられた。

2年目以降は福島県を中心にした放射能汚染対策が主になり、被災者支援のため毎年秋に福島市で「うつくしまEMパラダイス」を開催し、ボランティアによる自主的な放射能低減化の取組支援を継続している。

これらの活動は、国内はもとより世界中からの支援金で支えられている。本年10月末現在で874件、5,882万円の貴重な浄財は、大量にEMが散布できるよう百倍利器等EM培養装置やEM資材など被災地に直接関わる費用にのみ限定し使われている。

本年、当NPOが東京都から認定NPOとして認められ、納税時に支援金が控除対象になる。

今回の内容は、評価の高い映画「蘇生」の上映、最新の放射能研究成果発表、映画監督の白鳥哲氏及び比嘉照夫教授の特別講演会など。以下概要を紹介する。

映画「蘇生」は何回見ても新たな発見がある

主題は微生物による地球の蘇生だ。内容は微生物研究をリードする比嘉照夫教授ほか数名の方々が微生物の力を活用して地球を蘇らせる活動、とりわけ福島県の放射能被害をEM活用での除去や抑制の実態を伝えている。「今さえよければ」と言う風潮に警鐘を鳴らし、「あとから来る者のために美しい地球を残そう」と呼びかける素晴らしい映画である。微生物や地球について、より詳しく知りたくなる映画で新たな発見があるので、何回でも観る価値はあ

る。一度観られた方でも是非とも初めて観る知人を誘って来て、間違いなく感謝される。

EMによる放射能消滅の衝撃的事実を発表

EMによる放射能汚染対策に関する研究は、EM研究機構とベラルーシ共和国国立放射線生物学研究所において継続され今回発表される。成果として、①放射性セシウムの農作物への移行抑制が福島県農林水産部の実証試験においてもEMの抑制効果が実証されている。②畜産においても飼料へのEM添加・畜舎床へのEM散布・EMで発酵処理した牛糞やスラリーを施用し育てた牧草の飼料化で国の牛乳の放射能基準以下の生産が可能となった。③農地における放射性物質汚染低減化はEMによる効果の実証例が多く、土壌中のEMの活性が放射性セシウムの低減に大きく影響を及ぼしていて、EMで栽培された農作物は放射性物質汚染検査においても不検出で安心安全しかも高品質になることも実証されつつある。④EMやEM飲料を摂取することによって放射線による外部被ばくへの影響が軽減する可能性がラットを用いた実験で示されている。



写真:映画「蘇生」のPRパンフ

※笹川記念会館へのアクセス

- ・JR山手線・京浜東北線田町駅(三田口)より徒歩12分
- ・都営地下鉄三田線三田駅(A1出口)より徒歩10分
- ・都営地下鉄浅草線泉岳寺駅(A4出口)より徒歩5分

第6回「海の日」全国《47都道府県参加》一斉 EM団子・EM活性液投入集計〔最終結果〕

(都道府県名 団体数 / 参加人数 / EM 団子投入個数 / EM 活性液投入量)

①北海道	5 団体 / 18 人 / ● 1,100 個 / ■ 38,000 ℓ
②青森	1 団体 / 30 人 / ● 3,300 個 / ■ 26,300 ℓ
③秋田	5 団体 / 94 人 / ● 3,010 個 / ■ 5,700 ℓ
④岩手	75 団体 / 755 人 / ● 10 個 / ■ 16,389 ℓ
⑤宮城	21 団体 / 684 人 / ● 5,250 個 / ■ 26,800 ℓ
⑥山形	14 団体 / 151 人 / ● 6,660 個 / ■ 3,225 ℓ
⑦福島	23 団体 / 437 人 / ● 5,330 個 / ■ 125,005 ℓ
⑧新潟	10 団体 / 549 人 / ● 480 個 / ■ 11,780 ℓ
⑨富山	2 団体 / 45 人 / ■ 400 ℓ
⑩石川	2 団体 / 75 人 / ● 2,400 個
⑪長野	5 団体 / 79 人 / ● 30,080 個 / ■ 32,080 ℓ
⑫福井	3 団体 / 9 人 / ● 150 個 / ■ 2,500 ℓ
⑬岐阜	2 団体 / 100 人 / ■ 1,000 ℓ
⑭茨城	10 団体 / 282 人 / ● 16,570 個 / ■ 43,040 ℓ
⑮栃木	7 団体 / 70 人 / ● 2,000 個 / ■ 660 ℓ
⑯群馬	1 団体 / 12 人 / ■ 60 ℓ
⑰埼玉	2 団体 / 35 人 / ● 1,000 個 / ■ 6,700 ℓ
⑱東京	2 団体 / 19 人 / ■ 41,000 ℓ
⑲千葉	6 団体 / 161 人 / ● 10,100 個 / ■ 30,514 ℓ
⑳神奈川	15 団体 / 367 人 / ● 13,290 個 / ■ 6,511 ℓ
㉑山梨	3 団体 / 78 人 / ● 6,000 個 / ■ 2,350 ℓ
㉒静岡	15 団体 / 788 人 / ● 5,746 個 / ■ 10,680 ℓ
㉓愛知	29 団体 / 1,738 人 / ● 18,100 個 / ■ 101,970 ℓ
㉔三重	41 団体 / 2,443 人 / ● 94,340 個 / ■ 17,910 ℓ
㉕滋賀	4 団体 / 63 人 / ● 4,254 個 / ■ 5,284 ℓ
㉖京都	4 団体 / 45 人 / ● 1,200 個 / ■ 3,026 ℓ
㉗奈良	10 団体 / 187 人 / ● 3,000 個 / ■ 5,200 ℓ
㉘大阪	10 団体 / 612 人 / ● 20,000 個 / ■ 5,170 ℓ
㉙和歌山	2 団体 / 24 人 / ● 1,500 個 / ■ 3,000 ℓ
㉚兵庫	11 団体 / 229 人 / ● 4,000 個 / ■ 1,900 ℓ
㉛鳥取	1 団体 / 5 人 / ● 200 個 / ■ 300 ℓ
㉜島根	40 団体 / 819 人 / ● 34,170 個 / ■ 14,779 ℓ
㉝岡山	4 団体 / 450 人 / ■ 36,100 ℓ
㉞広島	1 団体 / 22 人 / ● 1,500 個
㉟山口	7 団体 / 58 人 / ● 500 個 / ■ 5,808 ℓ
㊱香川	7 団体 / 751 人 / ● 3,801 個 / ■ 3,040 ℓ
㊲愛媛	5 団体 / 314 人 / ● 1,900 個 / ■ 1,600 ℓ
㊳徳島	7 団体 / 182 人 / ● 10,900 個 / ■ 6,300 ℓ
㊴高知	3 団体 / 118 人 / ● 14,000 個 / ■ 500 ℓ
㊵福岡	11 団体 / 556 人 / ● 41,100 個 / ■ 19,190 ℓ
㊶佐賀	9 団体 / 287 人 / ● 5,720 個 / ■ 400 ℓ
㊷大分	6 団体 / 208 人 / ● 3,750 個 / ■ 560 ℓ
㊸熊本	6 団体 / 223 人 / ● 100 個 / ■ 15,230 ℓ
㊹宮崎	13 団体 / 676 人 / ● 13,145 個 / ■ 13,231 ℓ
㊺長崎	17 団体 / 743 人 / ● 21,135 個 / ■ 1,230 ℓ
㊻鹿児島	21 団体 / 748 人 / ● 31,520 個 / ■ 7,750 ℓ
㊼沖縄	22 団体 / 582 人 / ● 25,580 個 / ■ 22,000 ℓ

合計	団体数(団体)	総人数(人)	団子(個)	活性液(ℓ)
今年度	520	16,921	467,891	722,172
昨年度	453	17,988	459,278	938,360



山形 花と緑 環境の会



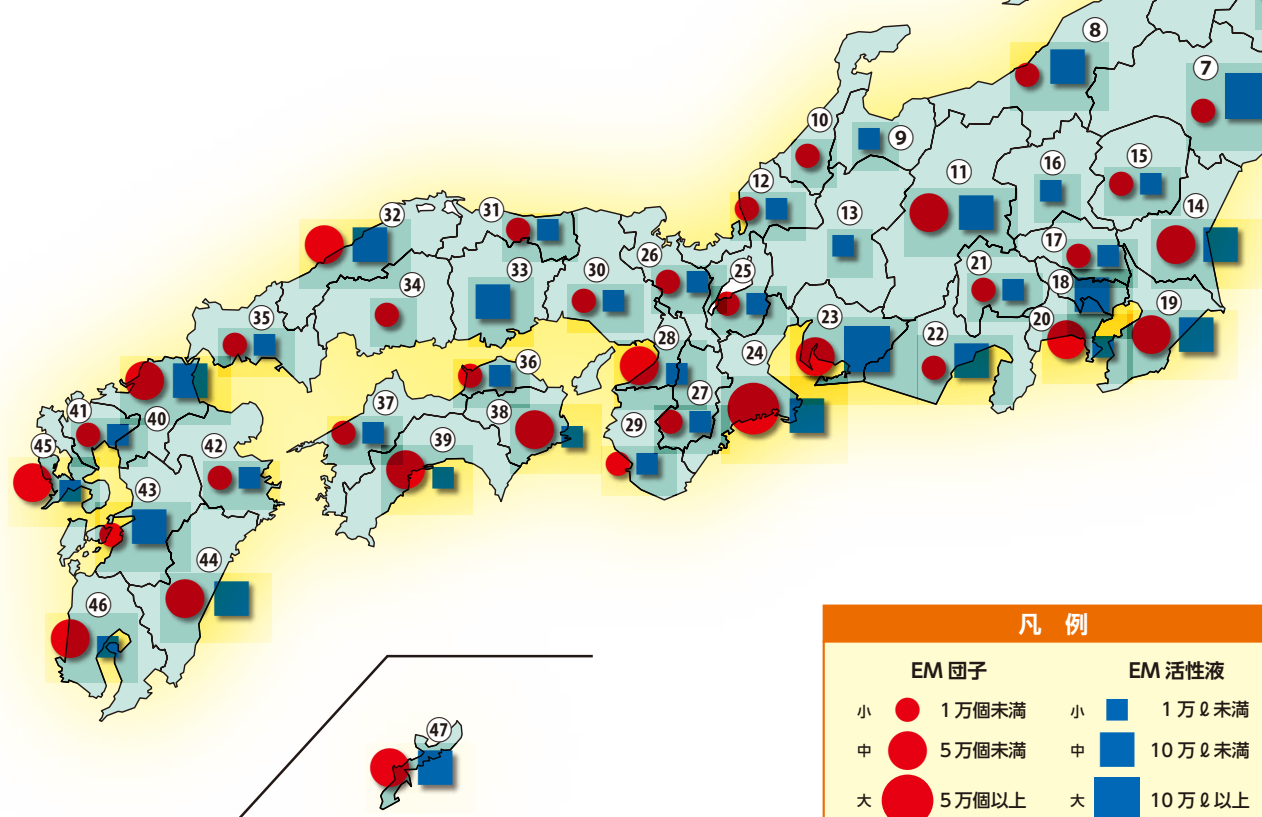
石川 SPC Japan



茨城 光風荘



栃木 NPO 足利水土里探偵団



凡 例

EM 団子		EM 活性液	
小	● 1万個未満	小	■ 1万ℓ未満
中	● 5万個未満	中	■ 10万ℓ未満
大	● 5万個以上	大	■ 10万ℓ以上



山梨 EM 共生ネットワーク山梨峡中



静岡 EM 倶楽部・湖西



愛知 堀川エコクラブ



三重 EM わくわくネット三重



滋賀 オーガニックステーション EM



大阪 天の川を清流にする会



愛媛 NPO えひめ EM 普及協会



福島県の災害復興状況

～ 5 年目を迎え新たなステージへ ～

取材／仲嶺

2011 年にスタートした本プロジェクトは、当初津波被害による悪臭緩和など衛生対策を中心に展開され、次第に放射能低減化、農作物への移行抑制など農産物の生産を中心とした自立支援へと移行してきた。この間、会員の皆様はじめ、世界各地の EM 関係者からの物的・精神的なご支援も絶えることなく、皆様の温かいお心のお蔭で本プロジェクトが継続できていることに感謝申し上げ、皆様へのご報告かたがた今年の活動状況についてご紹介する。

復興推進 EM 活用モデル事業団体の活動について

5 年弱の活動成果から EM に関心を持つ人が着実に増えてきており、放射能汚染対策に取り組むモデル事業団体数は、昨年末時点から 5 か所増え福島県 (46 か所)、栃木県 (3 か所)、宮城県 (1 か所)、今年 10 月時点で総数 50 か所となった。今年度は EM 技術懇談会を福島県内にて 3 回 (4 月 25 日 南相馬市、6 月 6 日 福島市、8 月 29 日 田村市)、テーマを「自立支援」、「楽しむ EM 活動、EM と花のまちづくり」と題して開催した。

現在では EM による放射性物質の移行抑制効果に着目し農業や畜産 (酪農) へ積極的に活用されている。農業現場では単なるベクレルフリーを目指すのではなく、圧倒的高品質の一次産品を生産し福島ブランドの再興により地域の産業振興に貢献したいと情熱を注いでいる。

EM 技術活用の圧倒的高品質農産物の生産に向けて

U-ネットでは支援事業を通して生産された農産物を広くご案内するため、善循環の輪通信を通してモデル事業団体の栽培する「復興支援米」の販売について御案内した。その結果、全国通信会員の皆様より多数のご注文を頂き定期購入のご要望など寄せられている。EM を活用して生産された農作物は、地域の農業振興だけでなく、それを食べる人々の健康を支える手段になりうると今後の成果に期待している。



▲馬場 EM 研究会 (南相馬市)

「生活の場」の再生へ

家庭内利用において単に安全な環境という側面だけではなく、EM 活用による家庭菜園や花づくりを楽しむことを通して

毎日の暮らしを豊かにする活動が展開され、「生活の場を再生する」という本プロジェクト本来の趣旨が浸透してきている。

これら EM による環境蘇生型技術を活用した実情を知っていたくため、(株) OFFICE TETSU SHIRATORI の特別協賛により今年 4 月に公開された映画「蘇生」の自主上映会を (福島市、郡山市、いわき市 2 回、南相馬市) 計 5 回開催し、来場者の皆様から多くの感動の声を頂いている。

支援事業団体の地域に対する献身的な活動により、本事業に対して新規に参入される方々に喜ばれ、楽しむ EM 活動の実績は生活不安を払しょくする大きな自信につながってきている。

原発事故から 4 年 8 ヶ月が経過したが、未だ多くの方々が放射性物質に汚染された土地での生活を余儀なくされている。復興庁の報告では平成 27 年 7 月現在東日本大震災による福島県全体の避難者数は約 11 万 2 千人とされている。そのうち約半数以上の方々が「戻りたい・条件が整えば戻りたい」、「未だ判断がつかない」と回答されている。

U-ネットでは今後もモデル事業団体の皆様と共に明るい話題を提供できるよう努めたい。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



▲四倉はまなすの会 (いわき市)



▲EM エコ郡山 (郡山市)

災害復興支援金口座

ゆうちょ銀行 振替口座 00130-2- 338341
名義 NPO 地球環境共生ネットワーク

i n f o r m a t i o n

事務局からのお知らせ

■今後の主要行事のご案内■

●うつくしま EM パラダイス in 東京

日程 11 月 29 日 (日)

会場 笹川記念会館

●U-ネット年次通常総会

日程 平成 28 年 2 月 27 日 (土)

会場 友愛会館 (東京都港区芝)

■U-net 通信と善循環の輪通信を活動にお役立て下さい。■

行政関係者や地域住民に U-ネットの環境改善活動をご理解いただく一助になれば幸いです。
ご連絡いただけましたら、通信のバックナンバーをお送りいたします。